

たまゆらり。

キボウダマ



きみがわらうと はながさく
きみがわらうと はながさく

そのはなが かれないように
わたしはきょうも みずをまくのよ



●そうやって 愛情の深浅を推し量るのね
だいじょうぶ
この愛は 深すぎて 見えないほど

みたいな

りだった

●あなたの澄んだ笑い声は
世界中の希望をかき集めた

希望のすべてのかたま

●必死で比べて 張り合ってるけど
そんなことに 一日の大半を費やしているけど
結果あまり 差異はないよね
それならば 比べずに生きよう



●きみが人知れず泣いたとき
その暗涙を
見逃さない

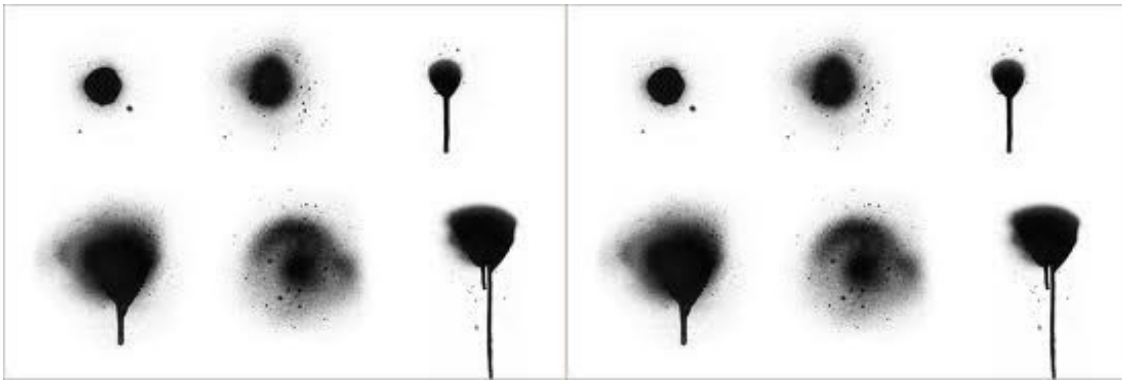
たとえ心が涙を流しても
決して私は見逃さない

そう 確信をもって
言えるといいんだけど・・・

●ひとの心の奥深く
琴線に触れることの難しさよ

けれども時に 掘り下げて
核心に切り込む勇気が必要で

そうすることでしか
到達できない場所がある



- こぼれたインクが沁み入るように
受けた傷は 滲んでひろがる

時間が経っても留まらず
心に深く浸透していく

時間が経っても留まらず
心に深く色を沈める

- あなたのその 懐疑的な態度をやめて



●この 曖昧で すべてが不確かなこの世界

そこにあっても 確固たるものは

何があっても 揺るがないものは

あなたを愛するこの気持ち

すべてが失われても この愛は残る

すべてが失われても この愛は譲れない

たとえ命が尽きようと この愛は生き続ける

ありがとう 愛しき我が子よ



たった3年しか生きていないのに

その澄んだ瞳には

驚くほどの 決意が見えた



あなたは だれかに 守られなくては 生存できない 愛しき存在

だれかに 支えられねば 立ち上がることすらできぬ 弱いわたし

そんなわたしが あなたを守ることもできる 逞しさ

愛ゆえの 逞しさ

●この

瑠璃色の 夜明けの空は
しんと静まりかえった早朝に
わたしだけの 空となる

心の光も闇もすべて
スポンジみたいに吸収してくれる空の
虜なのです

どうしたって 甘えてしまう

●この夜の漆黑さと

夜明けの純潔さよ

その間のほんの小さな隙間

そこに望みを置く
そこに望みを繋ぎながら

生きていく

●この頑なさは 誰に似たのか

この頑なさは 誰に似たのか

それでも その一刻さを 私は愛する



●その点においては
ある慎重さが必要なのだ

小さな心を守るため
ひとつひとつのことばを

思慮深く 発しよう

無神経な言葉は時に
凶器となるから

●自分の中へ 沈潜する心地よさ

自分の中へ 沈潜することのできる人は 幸福

だれにも邪魔されず 浮遊しているよう